

令和元年12月17日

保護者様

横浜市立山内小学校  
校長 佐藤 正淳  
児童いじめ防止委員会

## 地区懇談会・第2回山内小児童いじめ防止委員会の報告

日頃より本校の教育活動に多大なるご支援ご協力をいただきありがとうございます。

11月19日（火）に、3年生以上のクラス代表、山内中学校の代表生徒、青葉警察署の方々、青葉区役所の方、地域の皆様、地区担当保護司、主任児童委員、PTA、山内小・中の教職員が本校体育館に集まり、「地区懇談会・第2回山内小児童いじめ防止委員会」を行いました。毎年、「地区懇談会」と「児童いじめ防止委員会」の日程が近く、内容に重なる面がある為、今年度より、上記二つの会を併せて開催する運びとなりました。今回は、学校生活でありそうな場面を取り上げ、グループごとの話し合いを行いました。

話し合いについてご報告させていただきます。

【テーマ】 「だれにとっても居心地のよい学校づくり」  
「あったかハートでいじめ0（ゼロ） ～あったかハートな行動・言葉を増やそう～」

【参加者】 3年生以上クラス代表児童 24名 山内中学校生徒代表7名  
青葉警察署の方々 青葉区役所の方 地域の皆様  
地区担当保護司 主任児童委員 PTA役員・会員 教職員（小中）

【内容】 ①「山内中学校の様子について」  
②「山内小学校の様子について」  
③「いじめの場面について考えよう」

【報告】

- ①「山内中学校の様子について」
- ・委員会活動が活発である。
  - ・行事へ取り組む姿勢、意欲が向上した。
  - ・伝統である「あいさつ」の質が低下している。



※互いの意見を尊重し合い、高め合うことで人間関係の輪を広げ、よりよい誰にとっても居心地のよい中学校にしていきたい。



- ② 「山内小学校の様子について」…「行動」と「言葉」をテーマとしたいじめ防止委員会の取組の紹介
  - ・クラスごとにめあてを設定し、教室や廊下に掲示している。
  - ・クラスの良い所と悪い所を視覚化し、常に意識できるようにしている。



※二つの取組を通し、いじめを未然に防ぐことで、誰にとっても居心地のよい小学校にしていきたい。

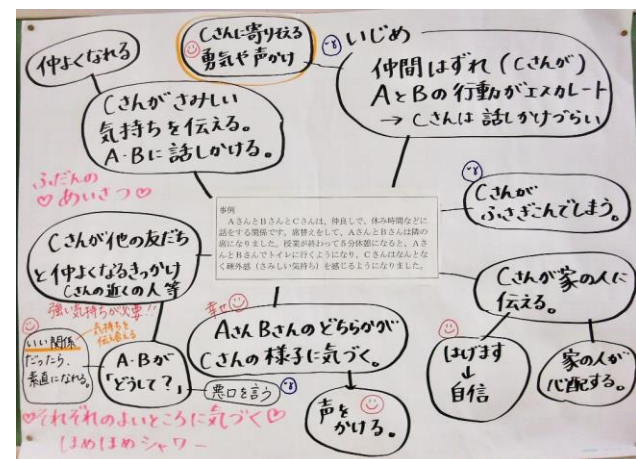
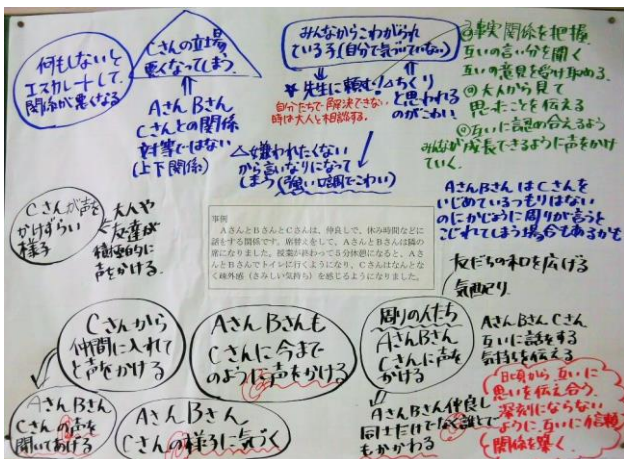
### ③ 「いじめの場面について考えよう」

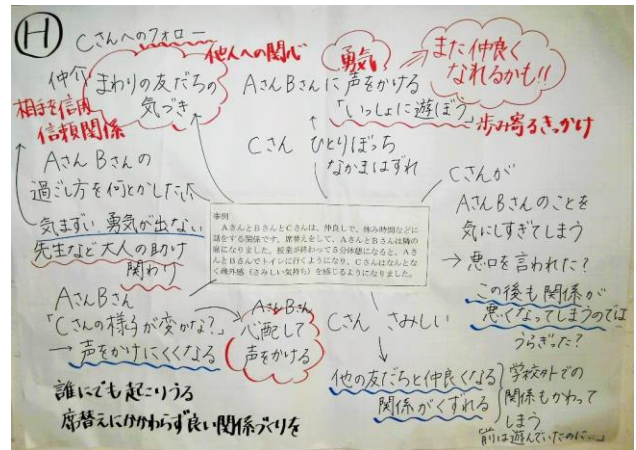
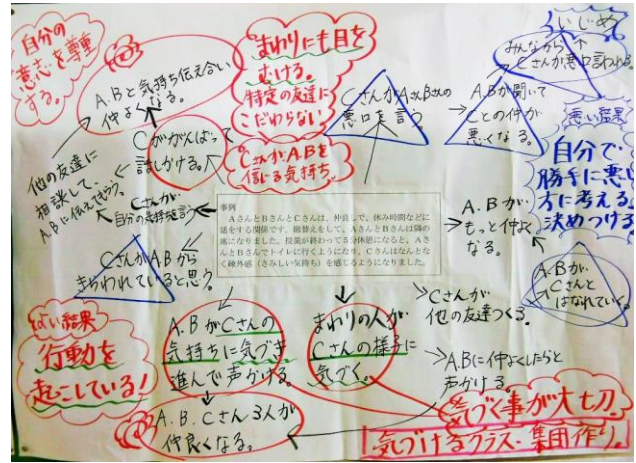
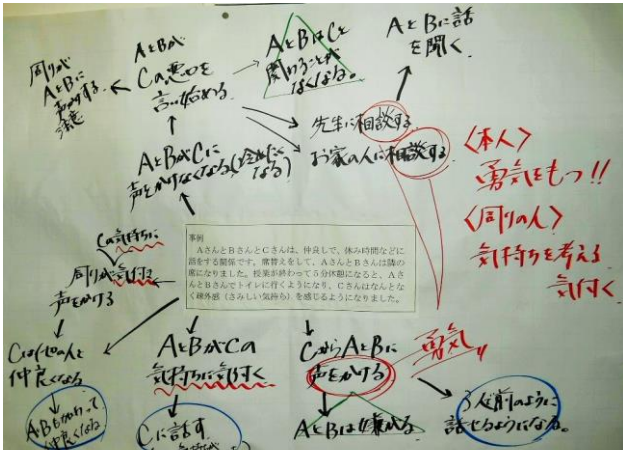
今回の話合いのテーマは、「いじめの場面について考えよう」でした。事例が実際に自分のクラスで起こった場合どうなりそうか、考えられる可能性についてすべて出しました。次に出し合った可能性について、何が要因・原因で、「いじめ」になるのか？「いじめの防止」につながるのか？グループごとに話合いました。

### 事例

AさんとBさんとCさんは、仲良しで、休み時間などに話をする関係です。席替えをして、AさんとBさんは隣の席になりました。授業が終わって5分休憩になると、AさんとBさんでトイレに行くようになり、Cさんはなんとなく疎外感（さみしい気持ち）を感じるようになりました。

### 各グループの話し合いから





**いじめにつながる場合**

- A、Bが仲良くなり、Cと距離ができる。
- A、BがCの変化に気付けない。
- A、BがCに意地悪を始める。仲間外れがエスカレートする。
- CがA、Bの事を避ける。
- CがA、Bに避けられているのではと勘違いしてしまう。
- CがA、Bの事を羨ましく思い悪い感情を抱く。
- Cが新しい友だちを作り、新しい友だちとでA、Bのことを避け、仲間外れにする。
- CがA、Bに嫌われたくないからと言いなりになり、対等な関係が崩れる。
- 誰もこのまま何もアクションをしない（エスカレートしていく）

**いじめ防止になる場合**

- A、BがCの気持ちに気付き、仲間に入れようとする。話を聞く。
- CがA、Bに話しかける。
- Cが周りの人に相談する。
- 周りや先生がA、B、Cの変化に気付く。
- 周りがA、BにCの気持ちを伝える。
- Cが新しい友だちを作り、A、Bと上手く距離をとる。



- お互いがそれぞれの気持ちを知る。
- 先生に入ってもらって解決する。
- 3人の仲良し同士にこだわるのではなく、たくさんのクラスメイトと関わる。

### いじめを防ぐために大切にしたい視点は？～居心地のよい学校にするためには～

- あいさつを大切にする。
- 日頃からお互いに思いを伝えあい、信頼関係を築く。
- 自分自身で勝手に悪い方向に決めつけない。
- お互いの思いを共有し合う。
- 勇気と思いやりの気持ちをもって、自分の気持ちを素直に伝える。
- 周りに目を向け、気付けるようにする。
- 広い視野と考え方もつ。
- 他人に関心をもつ。
- 友だちの輪を広げる。
- 誰とでも話せる環境づくりを行う。
- 居心地がよい→「壁が無い」→みんなが声をかけ合えるようにする。
- 気付けるクラス集団作りを大切にする。
- 行動をおこす→良い結果に行動はつきものである。
- 自分たちで解決できない時は大人に相談する。
- 自分自身が相手の傷付くような悪い方向にいかないようにする。
- 相手を信用する。
- 相手の立場に立って、相手の置かれている状況に納得する。



### 話し合いの中でみられた発言の様子

- 周りの人が気づくべきだと思います。ABCの問題ではないと思います。(児童)
- ABがCの気持ちに気付くことが一番大切だと思います。(児童)
- いつも決まったメンバーばかりと一緒にいるのではなく、違う人にも声をかけられる関係を作っておくことが大切だと思います。(山内中生徒)
- 仲良しだからこそ言えないこともあるけれど、仲良しだからこそ勇気を出して思ったことは伝えることも大切です。(山内小教職員)
- Cの立場になった時、勇気を持たない子も多いのではないのでしょうか？そんな時こそ周りが気付けることが大切です。今回の事例は大人にも見られることです。周りに広く目を向けることが、今後どう過ごしていくのかに大きく関わってきます。特定の人と仲良くするだけでなく、是非、様々な人と関わって欲しいと思います。(山内小教職員)
- 「今の言い方怖いよー。」など、冗談を織り交ぜながら、クラスメイトの他人に対する言い回しを注意できるととても良いと思います。(山内中教職員)
- 周りを見る目を大切にして欲しいと思います。ABにCに対して声をかけてあげたら？と周りの人が

言えるクラスが居心地のよいクラスではないのでしょうか？（山内中教職員）

- 正義感のみでABを注意することも間違っただけの結果を生むことになるのではないのでしょうか？ABがCに対する悪意をもっていない場合、注意されることでABも傷つくことになると思います。（PTA）
- 人に関心をもって、周りをよく見て下さい。併せて自分の気持ちを伝える勇気と歩み寄ることのできる柔軟性ももてると良いですね。それでも、もし誰かと仲良くなれなくても、別の友達もいるのだから広い視野をもてると良いと思います。（PTA）
- 自分がなぜ？何に？苦しんでいるのかしっかりと相手に示すことも大切です。（青葉区役所の方）
- 本（文字・活字）を読み込むことを大切にして欲しいと思います。考え、想像力を働かせることが相手への理解につながるのではないかと思います。（地域の方）
- 今回の事例と似たケースはクラス替えをする度にあることかと思いますが。個人個人の関係だけでなく、グループ間の関係でもCのような思いをしている子がいることでしょう。色々な人が様々な経験をしながら人間関係を作り関わり合うことで、クラスの力が高まっていきます。中学生になっても大人になっても、人間関係をより上手く作りながら成長して欲しいと思います。（地域の方）
- 一つの輪にこだわらず、色々な輪を大切にしながら、周りの友達と関わって欲しいと思います。（青葉署警察の方）
- 誰もABCになりえます。しっかりと人間関係を築いた上で、新しい友だちとも関わって下さい。（青葉署警察の方）



#### 学校長から

- 小学生～地域、行政の方々となかなか一同に話す機会は滅多にありません。非常に貴重な経験となりました。今回の事例は、大人でも解決することが難しい問題でした。正解はありません。今後役に立つことがあるかもしれないし、通用することのない厳しい世界に直面することがあるかもしれません。それでもみんなで考えていくことが大切なのではないのでしょうか？犬や猫などの関わりある身近な動物の場合、想像力を働かせれば、会話ができなくても気持ちを読み取ることができます。しかし、人同士の場合であっても、周りとの関わり合いにおいて正面から向き合おうとしなければ、想像力は働かず相手の気持ちを理解することはできません。新たな出会いやチャレンジから多くを学び、想像力を働かせることが、今回のテーマの答えの一つになるのかもしれませんが。



## 児童の感想

- A、B、Cの気持ちがあった。
- 私がCの立場だったら、「入れて」と言えると思うけど、それ以上に周りが気付くことが大切であると、改めて理解することができた。
- どういう行動をとるといじめがおき、どういう行動をすればいじめがなくなるのか（誰にとっても居心地のよい学校になるのか）よく分かりました。
- 山内小学校でも、みんなが思いやりの気持ちをもてるようにがんばりたい。
- 中学校の先輩から、「居心地がよい」とは「壁がない→差別がない」ことではないかと聞いて、なるほどと思った。差別をなくすことは、自分一人ではできないことなので、いじめ防止委員会のみんなや先生方、地域の皆さんと協力しながら居心地のいい学校づくりを目指したい。
- 「正面から向き合わないと何もわからない」という校長先生の言葉を参考にしながら、これからも友達と接したい。
- 中学生や保護者の方の意見も聞くことができたので、話が進むのが早く、良い話し合いができました。
- 前回よりも積極的に発言することができ、話し合いを上手に進めていくことができた。他の班の発表で、自分たちの班では出なかった意見を聞くことができて、クラスでも取り組んでみたいと思った。いじめ防止という視点はもちろん、地域の方との交流という面でもとても良い経験になった。

## 中学生の感想

- 小学生から大人まで、私たち中学生だけではでてこない意見がたくさんあり、とても新鮮でした。居心地のよい学校にするにはまだまだ課題がたくさんありますが、この話し合いで得たことを基に、少しずつ良い学校づくりをしていきたいです。
- 自分（中学生だけ）では考えつかないような意見がたくさん出てきた。ここで学んだことを学校でも広めていきたい。
- 色々な立場の人が一つのテーマについて話し合うことで、異なった考えを聞くことができて良かった。中学生の自分も考えないような意見を小学生が話していたし、大人はこのような状況をどうやって対処するのか、考えるのか聞けてためになりました。このような活動があることで、小学校も中学校も良い方向に向かってきていると思いました。



## 来賓の方々の感想

- 幅広い方々と1つのテーマで話し合えるのは良い機会でした。
- 話をする機会のない大人と子どもが時間を共有でき、良い経験となりました。6年生のしっかりとした意見にビックリしました。我が子も参加できたら、どういふことを言うか聞いてみたくなりました。
- プラスの意見、マイナスの意見、どちらも合わせて色々な意見が聞けて良かったです。
- 先生、小学生、中学生、保護者、地域の方々が集まり、交流がもてたのはありがたかったです。色々な視点で考えることができました。今回、山内小学校の保護者が多く参加したことは、大変良かったです。
- 子ども達から活発な意見が出て、普段からよく考えられているという印象を受けました。
- 子ども目線で考えたり、皆様のご意見を聞いたり、改めて自分を見つめ直すいい機会をいただきました。
- 小学生と中学生とでは発達段階が違いすぎ、小学生にとっては理解することが難しいのではないかと感じました。
- 定期的にこのような会を開いて、子ども達の日頃からの意識付けをしていくことが大切だと思いました。
- 中学生と小学生では話の内容（事例）と同じような場合でも、感じ方が違うことに驚きました。
- 校長先生、副校長先生がおっしゃっていた通り、答えのない難しい問題だと感じました。角度を変えてみると、友達とすれ違ってしまうことは多々あると思うので、たくさんの答えを考えたり、悩んだり、話し合ったりすることはとても大切だと思いました。
- 答えのないテーマに皆で知恵を出し合いまとめていくことで、答えらしきものが出てくる過程がとても面白かったです。小学生の意見、小学生の親の意見は少し楽観的で外に目を向けようとする話が多く、中学生の親は、もっと深刻な捉え方でした。その違いが興味深かったです。中学生の親は、娘がCになったらすごく辛いという考えでしたが、中学生の女子は、実はもっと大人な意見でした。親子の思考の違いの縮図を見たようで、とても勉強になりました。
- 子ども達の素直な意見が聞けてとても参考になりました。気持ちを伝える事や気付いてあげられる事が大切だと思いました。家庭でも意識していきたいと思います。
- 生の声が聞けて貴重な時間となりました。家庭でも話題にしてみようと思います。
- 子ども目線の心情、解決方法を思い出しながら臨みました。「世界は広いよ！」と声を大にして伝えたいです。
- 誰にでも起こりうるケースについて、子ども目線、大人目線…と多角的な意見を交わす良い機会でした。校長先生の「何事も真剣に向き合わないと相手の事はわからない」という言葉のように、友人とケンカをすることがあっても、真面目に前向きに相手の気持ちを思いやれるような人間に育ててほしいと改めて思いました。
- 今も昔も変わらず普遍的に起こりうる問題について、様々な世代で話し合う機会は本当に貴重だと思いました。今回代表として参加した小・中学生達にとっては、特に大人が真剣に考え意見を述べる姿を間近で見たことで、色々な思いをもったのではないかと思います。各自治会長、地域の方、校長先生、先生方より気付きを与您いただき、大人の私も有意義に過ごすことができました。「想像力」…いかなる時も大事にしたいと思います。人を傷付けないことも大いに活用したいものです。

- 小学生、中学生からも臆することなくたくさんの意見が聞けて良かったです。保護者の方、地域の方、先生方から普段聞けないことがたくさん聞けました。
- 児童だけでなく、中学生や警察署、区役所の方々、地域の方々が集まり、一つのテーマに沿って意見を交換し合うというのは、なかなか経験できない貴重な経験でした。大人が何人もいる中でも、自分の意見をしっかりと話す山内小の子ども達の姿に感心しました。同じテーマでも、小学生、中学生、大人の捉え方はそれぞれ異なるかと思いますが、皆さんのどの意見も「うんうん」と頷いてしまう内容で、私自身、とても多くの事を学ばせていただく機会となりました。このような取組を重ねていくことで、一人でもいじめられたり、孤立したり、嫌な思いをしたりする子が減っていくと良いなあと思います。「0（ゼロ）」にすることは難しいかもしれませんが、地域ぐるみで理想を掲げ、子ども達に取組を通じて大人たちのメッセージを伝え続けていくことは有効で素晴らしいことだと感じました。
- 子ども達の世界に大人が踏み込み過ぎるのは好ましくないと思いますが、家庭で会話をして、変化を感じ取ることはできるかと思います。親子のコミュニケーションの重要性を感じました。改めて、周りにも目を向け、寂しそうな友達がいたら気付き、さりげなく声をかけ合える人になって欲しいと思いました。このような話し合いの時間を学年全体で持てたら素晴らしいと思います。答えのない問題ですが、ここに集まった皆さんが優しさや思いやりを持ち続けることが「居心地のよい学校」につながると思っています。



#### 【おわりに】

「地区懇談会・第2回山内小児童いじめ防止委員会」の内容を校内全体でも共有し合う為、学年ごと、クラスごとに今回のテーマについて話し合いの場をもちました。一人ひとりが相手に関心を持ち、理解し合うことで、「いじめを未然に防ぐことができる山内小学校」、「居心地のよい山内小学校」、「あったかハートな山内小学校」を作り上げていきたいと思えます。皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の指導の参考にさせていただきます。ありがとうございました。